

【資料編】

1	日本語指導Q & A（日本語指導担当者からのよくある質問）	26
2	外国人児童生徒個人カード	30
3	聞き取り調査例	31
4	千葉県公立高等学校への入学，転・編入について	35
5	参考情報	39

日本語指導Q & A（日本語指導担当者からのよくある質問）

Q1 日本語指導教室での日本語指導の終了時期は？

A：個人差はありますが、子どもたちが生活言語（日常会話）を習得するには2年、学習言語を習得するには、5～9年かかるといわれています。つまり、日本語の初期指導が終わっても、学級での学習を理解するのは難しく、また精神面で支援が必要な場合もあります。学級担任と日本語指導担当教員が連携して指導し、子どもの気持ちも聞きながら、支援方法・終了時期を決めるとよいと思います。終了しても見守りを続ける必要があります。

Q2 学級担任との連携は？

A：子どもへの指導は日本語指導担当教員だけでなく、学校全体で取り組むことが大切です。学級での子どもの様子や学習内容、日本語指導担当教員の指導内容及び子どもの学習の様子等を記す「連絡ノート」の活用をお勧めします。また、子どもが学習内容を理解できるよう、先行学習や付き添い支援等についても相談しながら進めるとよいと思います。

（次ページ別紙参照）

Q3 国語指導と日本語指導の関係は？

A：国語指導は日本語を母語とする子どもへの指導で、小学校1年生の段階で日本語の話し言葉の基礎ができています。それに対して、日本語指導は日本語を母語としない子どもへの指導で、日本語が全くわからない状態からの学習になります。国語の教科書の文字や文法、そして思考力を育むことのできる説明文などを日本語指導とリンクさせて指導していくとよいと思います。また、学級での国語の授業と連携して、リライト教材やワークシートを活用して、日本語学習から国語学習への橋渡しをしてほしいと思います。

Q4 中学校段階の教材やカリキュラムは？

A：数は少ないのですが、中学校生活の場面、語彙等を考慮した教材があります。例として『中学生の日本語』『JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE』などです。また、中学生の場合は、母語を習得していますので、母語訳付きの教材や学習語彙・用例集なども使うことができます。指導時間が限られていますので、生徒の日本語力をチェックし、必要な項目を選択して、生徒の実態に合わせてカリキュラムを組んでいくとよいと思います。

Q5 発達障害・学習障害をもつ児童生徒の指導は？

A：日本語を母語としない児童生徒が発達障害・学習障害をもっている場合、母語も日本語もどちらも理解できない「ダブルリミテッド」になってしまうことがあります。『医学と教育との連携で生まれたグレーゾーンの子どもに対応したワーク』、絵を使ってことばを教える『こどもことば絵じてん』や『ことばつかいかた絵じてん』などの教材があります。具体的に、そしてスモールステップで必要なことばから指導していくとよいと思います。

「学級担任と日本語担当教員の連携」

千葉県教育委員会委嘱研究員・相談員

井上 恵子

1. 適応のための日本語（生活日本語）指導

（1）学級担任として

学級での居場所づくり

①受け入れ児童への指導

- ・日本語が分からないということは「ハンディ」ではない。プラス思考で。
- ・対象児童の「良さ」をアピールする。
- ・かかわりの中で日本語を習得・・・グループ活動、係り活動等
「教えてあげる→いっしょにやろう」
- ・資料の準備（日本語指導担当教員から）
＜例＞『たのしいがっこう』・・・22言語の母語訳付き（東京都教育委員会）
『言葉の手引』・・・ポルトガル語、スペイン語（千葉県教育委員会）
『知りたいな友だちの国のこと』・・・47カ国（千葉県教育委員会）

②対象児童への配慮

- ・学校生活の場に応じて、語彙や言葉の使い方を分かりやすく話す。
はっきりとした発音で、ゆっくりと、くりかえして、短い文で、身振り手振り
- ・沈黙期・・・たくさんのことを見たり、聞いたりして蓄積している時期。
→正しい日本語で話しかけることが大事。
- ・出来たことを共に喜んだり、がんばり表を作ったりして、意欲を高める。
- ・資料の準備（日本語指導担当教員から）
＜例＞受け入れ児童向け資料の他に
『こどもにほんごじてん』（講談社）、『ことばつかいかた絵じてん』（三省堂）等

（2）日本語担当教員として

学校が好き、日本語学習が好き

①オリエンテーション

- ・発達の段階に応じて、学校案内・教員紹介等をする。
全学校職員とのかかわり（管理職・教務主任・養護教諭・栄養職員等）
学校施設の使い方の説明
- ・日本語学習について
日本語教室での学習
日本語や学習教科

②日本語教室での指導

- ・学校生活及び日常生活に必要な語彙や言葉の使い方、文字指導をする。

<資料例>

『にほんごをまなぼう』・・・15言語の母語訳付き（文部科学省）

（3）連携を図るには

日本語で自分の気持ちが言えるように

①連絡ノート

- ・日本語教室、在籍学級での学習の様子を知る。
- ・指導内容の欠落・重なりを防ぐ。
- ・指導計画の作成資料

②付き添い支援

- ・給食、清掃、学校行事等で、担任からの指示等を説明したり、活動の補助をしたりする。

2. 教科対応のための日本語指導

（1）学級担任として

授業に参加できるように

①学習目標を絞る。

学習する内容・カットする内容を判断する。

②対象児童向けの資料を用意する。（日本語担当教員の協力を得る）

ワークシート、リライト教材、おたすけカード、ルビ付き資料、母語付き資料等

③授業の前に語彙や漢字の読みなどを予め指導しておく。（日本語担当と相談）

④学習の仕方を指導する。

聞く、話す、読む、書く、写す、調べる等

⑤言葉だけに頼らず、言葉以外の補助資料も使って理解させる。

実物、絵、絵を板書、写真、映像、実験、見学等

⑥活動形態の工夫をする。

一人学習、2人学習、グループ学習

⑦机間指導の時間をとり、個別に指導する。

⑧何らかの設問で対象児童に発言させて、児童を生かした形で授業に参加させる。

⑨音読を取り入れる。

国語科では教材の音読テープをダビングして家庭でも練習できるようにする。

（2）日本語担当教員として

学習内容を理解できるように

①対象児童の使っていることばを整理する。

- ・誤用チェック→正しい使い方（ワークシート等）

②教科用語、使用文型、文字について指導する。

<資料例>

『日本語を学ぼう2・3』（文部科学省）、基本文型集、教科書語彙集、算数の問題文例集、漢字学習

③未学習部分の引き上げ指導をする。

④在籍学級の授業展開に合わせた教材分析をし、予習教材や復習教材を作成する。
文型、語彙、音声、漢字、授業用語等

（3）連携を図るには

友だちと学びあえるように

①指導方法

- ・児童の実態に合わせて、指導方法を選ぶようにする。
先行学習・・・在籍学級の学習に先行して日本語 教室で学習
併行学習・・・在籍学級の学習に併行して理解が困難な内容を学習
復習・・・在籍学級の学習が終了後、復習として学習

②付き添い支援（TT）

- ・担任の指示や学習内容が理解できているかを確認して、知らせる。
- ・学習内容を児童が分かる言葉に直したり、リライトしたりして理解させる。
- ・児童が授業に参加し、学習目標を達成できるように励ます。
- ・目標が達成できたかどうか、評価する。

外国人児童生徒 個人カード

平成 年 月 日 記入者 ()

フリガナ			性	生 年 月 日	年齢	児童区分
児童名			男	平成 年 月 日		中国帰国児童
通称名			女	(西暦 年)	歳	外国人児童生徒
国籍		使用言語			来日目的	永住・一時滞在
出身国		来日 年 月 日			編入・転入 年 月 日	
日本の学年		現地での在籍校・学年			校 学年	
日本語能力	聞く 話す	1. 全くわからない 2. あいさつができる 3. 簡単な指示ができる 4. 簡単な会話ができる 5. 会話は十分できる			読む 書く	1. 読み書きができない 2. かなが読める 3. 簡単な漢字が読める 4. ひらがなが書ける 5. 簡単な漢字が書ける
出身国での 教育環境 就学歴等				健康 状況		
日常生活上 の問題点等						
フリガナ			続柄		職業	
保護者名			国籍		ビザの種類	
通称名			使用言語		日 本 語	可・不可
住 所	Tel					
緊急連絡先	Tel					
家族構成	(日本語のできる人に○)					
フリガナ			続柄		使用言語	
引取人名			国籍		日 本 語	可・不可
住 所	Tel					
備 考						

聞き取り調査例（小学生保護者用）

外国人保護者への聞き取り調査（小学生保護者用）

子ども名（ ）

調査目的

- 1 保護者は子どもについてどのように考えているか。
- 2 保護者は学校や教育についてどのように考えているか。

調査項目

1 今後の展望

- (1) ずっと日本で暮らしたい。
- (2) 数年で帰国したい→（ ）年
- (3) 子どもを残して帰国する。
- (4) わからない

2 来日理由

- (1) 仕事：どんな？（今の仕事、これまでの仕事）
どのような関係で？（親戚・友人知人がいたから、その他）
- (2) 留学
- (3) 結婚
- (4) その他

3 来日前の準備 来日前に日本語の勉強など準備をしたか。（自分自身、子ども）

- (1) した→：どのように？（ ）
- (2) しなかった →：その理由は？：（ ）

4 滞日年数 来日の時期は？：

5 家庭内言語 家庭の中で何語を話しているか。会話するときには困ることは何か。

- ・夫婦
- ・子ども
- ・その他

6 日本の生活について

- (1) よかったことは？ 仕事・お金、便利な生活、文化、教育環境、治安
その他（ ）
- (2) 困ったことは？ 仕事・お金、人間関係、生活、文化、環境、治安
その他（ ）

7 子どもの将来

(1) 子どもは何語を話してもらいたいか。

- ① 両言語（ ）
- ② 日本語
- ③ 考えていない

(2) 日本の学校に通わせようと思った理由

- ① 日本語を学ばせたい
- ② 知り合いが通っている
- ③ 近く
- ④ その他

(3) 小学校の学費

- ① 学費が安い
- ② ふつう
- ③ 学費が高い

(4) 小学校の給食費

- ① 給食費が安い ② ふつう ③ 給食費が高い

(5) 小学校卒業後どうしたいか。

- ① 日本の中学 ② 母国の中学 ③ その他の中学
④ 日本以外で働く ⑤ わからない

(6) 高校についてどうしたいか。

- ① 日本の高校 ② 母国の高校 ③ その他の高校
④ 日本で働く ⑤ 日本以外で働く ⑥ わからない

(7) 大学についてどうしたいか。

- ① 日本の大学 ② 母国の大学 ③ その他の大学
④ 日本以外で働く ⑤ わからない

(8) 子どもは将来どのようなようになってもらいたい。子どもの将来についての夢は？
どこでどのような仕事についてもらいたい。(日本・母国)で

- ① 会社員 ② 教師 ③ 自分と同じ仕事
④ その他 ⑤ わからない

(9) どんなことができるようになってもらいたい。

- ① 英語 ② 日本語 ③ スポーツ ④ コンピュータ
⑤ ピアノ ⑥ 水泳 ⑦ その他 ()

→もし可能であれば放課後学校で習わせたいことがあるか？
()

8 学校や社会とのつながり

(1) 小学校との連絡や先生とのやりとりで困ったことは何か。

- ① お知らせがわからない ② 先生と自由に話せない (日本語がわからない)
③ 通訳がいると話にくい ④ その他 ()

(2) 学校の行事 (参観日、保護者会、運動会など) に参加できない理由は？

- ① 時間帯があわない → いつだったら可能か? ()
② 内容がむずかしい・興味がわかない → どんなことだったらいいか?
()

- ③ 学校でどんなイベントがあったらもっと参加しやすいか。
ア 自分の国の紹介 (料理、文化、音楽、ことば、など)
イ スポーツ (どんな?)
ウ 音楽 (どんな?)

(3) 子どもの教育で困ることは何か。問題は何か。

- ① 日本語がわからない ② 子どもの勉強が教えられない
③ お金がかかる ④ その他 ()

(4) 生活や教育で困ったら、誰に相談するか。

- ① 配偶者 ② 友達 (どんな?) ③ 通訳ボランティア
④ 先生 ⑤ その他 ()

(5) 定期的に同じ国の人たちと集まることあるか。

聞き取り調査例（中学生保護者用）

外国人保護者への聞き取り調査（中学生保護者用）

子ども名（ ）

調査目的

- 1 保護者は子どもについてどのように考えているか。
- 2 保護者は学校や教育についてどのように考えているか。

調査項目

1 今後の展望

- (1) ずっと日本で暮らしたい。
- (2) 数年で帰国したい→（ ）年
- (3) 子どもを残して帰国する。
- (4) わからない

2 来日理由

- (1) 仕事：どんな？（今の仕事、これまでの仕事）
どのような関係で？（親戚・友人知人がいたから、その他）
- (2) 留学
- (3) 結婚
- (4) その他

3 来日前の準備 来日前に日本語の勉強など準備をしたか。（自分自身、子ども）

- (1) した→：どのように？（ ）
- (2) しなかった →：その理由は？：（ ）

4 滞日年数 来日の時期は？：

5 家庭内言語 家庭の中で何語を話しているか。会話するときには困ることは何か。

- ・夫婦
- ・子ども
- ・その他

6 日本の生活について

- (1) よかったことは？ 仕事・お金、便利な生活、文化、教育環境、治安
その他（ ）
- (2) 困ったことは？ 仕事・お金、人間関係、生活、文化、環境、治安
その他（ ）

7 子どもの将来

(1) 子どもは何語を話してもらいたいのか。

- ① 両言語（ ）
- ② 日本語
- ③ 考えていない

(2) 日本の学校に通わせようと思った理由

- ① 日本語を学ばせたい
- ② 知り合いが通っている
- ③ 近く
- ④ その他

(3) 中学校の学費

- ① 学費が安い
- ② ふつう
- ③ 学費が高い

(4) 中学校の給食費

- ① 給食費が安い ② ふつう ③ 給食費が高い

(5) 中学校卒業後どうしたいか。

- ① 日本の高校 ② 母国の高校 ③ その他の高校
④ 日本以外で働く ⑤ わからない

(6) 日本の専門学校について知っているか。また進学させたいと思うか。

- ① ア 知っている イ 知らない
② ア 進学させたい イ 進学させたくない ウ わからない

(7) 大学についてどうしたいか。

- ① 日本の大学 ② 母国の大学 ③ その他の大学
④ 日本以外で働く ⑤ わからない

(8) 子どもは将来どのようなようになってもらいたいか。子どもの将来についての夢は？
どこでどのような仕事についてもらいたいか。(日本・母国)で

- ① 会社員 ② 教師 ③ 自分と同じ仕事
④ その他 ⑤ わからない

(9) どんなことができるようになってもらいたいか。

- ① 英語 ② 日本語 ③ スポーツ ④ コンピュータ
⑤ ピアノ ⑥ 水泳 ⑦ その他 ()

→もし可能であれば放課後学校で習わせたいことがあるか？
()

8 学校や社会とのつながり

(1) 中学校との連絡や先生とのやりとりで困ったことは何か。

- ① お知らせがわからない ② 先生と自由に話せない (日本語がわからない)
③ 通訳がいると話にくい ④ その他 ()

(2) 学校の行事 (参観日、保護者会、運動会など) に参加できない理由は？

- ① 時間帯があわない → いつだったら可能か？ ()
② 内容がむずかしい・興味がわからない → どんなことだったらいいか？
()

- ③ 学校でどんなイベントがあったらもっと参加しやすいか。
ア 自分の国の紹介 (料理、文化、音楽、ことば、など)
イ スポーツ (どんな?))
ウ 音楽 (どんな?)

(3) 子どもの教育で困ることは何か。問題は何か。

- ① 日本語がわからない ② 子どもの勉強が教えられない
③ お金がかかる ④ その他 ()

(4) 生活や教育で困ったら、誰に相談するか。

- ① 配偶者 ② 友達 (どんな?)) ③ 通訳ボランティア
④ 先生 ⑤ その他 ()

(5) 定期的に同じ国の人たちと集まることあるか。

千葉県公立高等学校への入学、転・編入について

○入学者選抜について（「平成23年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項」より抜粋）

入学者選抜については、次のⅠからⅩの10の選択肢がある。希望校管轄の県教育委員会又は市教育委員会に最新情報を問い合わせること。

Ⅰ 前期選抜

(1) 実施する学校・学科

全日制の課程及び定時制の課程のすべての学校・学科で実施

(2) 入学者選抜枠の範囲

普通科 30%以上60%以内

専門学科 50%以上80%以内

(3) 検査の内容

・第1日の学力検査の内容

国語・数学・英語・理科・社会

・第2日の検査の内容

各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施する。

期待する生徒像は各高等学校が定める。

Ⅱ 海外帰国生徒の特別入学者選抜

応募資格に外国での在住期間要件があるので注意。当該教育委員会に最新情報を要確認。

(参考) 平成23年度募集資格の外国における在住期間要件

ア 外国における在住期間が、帰国時からさかのぼり継続して2年以上4年未満の者で、帰国後1年以内のもの

イ 外国における在住期間が、帰国時からさかのぼり継続して4年以上の者で、帰国後2年以内のもの

この場合、「帰国後1年以内」とは、原則として、帰国した日から平成23年2月6日（日）までに1年が経過していない場合をいう。

(注：平成23年2月6日は当該年度の出願受付開始日の前日を示す。)

(1) 実施する学校・学科

平成23年度は、全日制課程の公立高等学校20校29学科で実施。

(2) 入学許可候補者の予定人員

入学許可候補者の予定人員については別に定める。また、「Ⅰ 前期選抜」の予定人員の一部とする。

(3) 検査の内容

・学力検査を実施する場合には、「Ⅰ 前期選抜」の第1日に実施する。

・第2日の検査については、各高等学校が別に定める。

Ⅲ 外国人の特別入学者選抜

応募資格に入国後の在日期間要件があるので注意。当該教育委員会に最新情報を要確認。

(参考) 平成23年度募集資格の要件

保護者等とともに千葉県内に居住しているか又は居住予定のある外国籍の者等のうち、入国後の在日期間が3年以内のもの

この場合、「入国後の在日期間が3年以内」とは、原則として、入国した日から平成23年2月6日（日）までに3年が経過していない場合をいう。

(注：平成23年2月6日は当該年度の出願受付開始日の前日を示す。)

(1) 実施する学校・学科

平成23年度の実施は、次の6校7学科

千葉県立幕張総合高等学校	全日制の課程	普通科
千葉県立柏井高等学校	全日制の課程	英語科
千葉県立松戸国際高等学校	全日制の課程	国際教養科
千葉県立成田国際高等学校	全日制の課程	国際科
柏市立柏高等学校	全日制の課程	普通科
千葉県立市川工業高等学校	定時制の課程	機械電気科・建築科

- (2) 入学許可候補者の予定人員
入学許可候補者の予定人員については別に定める。また、「I 前期選抜」の予定人員の一部とする。
- (3) 検査の内容
面接及び作文（いずれも英語又は日本語による）

IV 中国等帰国生徒の特別入学者選抜

応募資格に保護者及び入国後の在日期間要件があるので注意。当該教育委員会に最新情報を要確認。

(参考) 平成23年度募集資格の要件

保護者が中国等引揚者で、保護者とともに引き揚げ、千葉県内に居住しているか又は居住予定のある者のうち、帰国して3年以内のもの
この場合、「帰国して3年以内」とは、原則として、帰国したから平成23年2月6日(日)までに3年が経過していない場合をいう。

(注：平成23年2月6日は当該年度の出願受付開始日の前日を示す。)

- (1) 実施する学校・学科
全日制の課程及び定時制の課程のすべての学校・学科で実施
- (2) 入学許可候補者の予定人員
若干名。「I 前期選抜」の予定人員の一部とする。
- (3) 検査の内容
面接及び作文

V 成人の特別入学者選抜

応募資格に定時制課程志願理由及び年齢の志願要件があるので注意。県教育委員会に最新情報を要確認。

(参考) 平成23年度募集資格の要件

ア 定時制の課程を志願する理由が明白かつ適切であり、学ぶことに対して強い意欲を有する者

イ 平成23年3月31日に満20歳に達している者

- (1) 実施する学校・学科
定時制の課程のすべての学校・学科で実施
- (2) 入学許可候補者の予定人員
入学許可候補者の予定人員については別に定める。また、「I 前期選抜」の予定人員の一部とする。
- (3) 検査の内容
面接及び作文

VI 連携型高等学校の特別入学者選抜

(参考) 平成23年度に応募資格は、連携する中学校を平成23年3月に卒業見込みの者で、連携する中学校の校長の承認を得たもの。県教育委員会に最新情報を要確認。

- (1) 実施する学校
千葉県立関宿高等学校
- (2) 連携する中学校
野田市立関宿中学校
野田市立二川中学校
野田市立木間ヶ瀬中学校
- (3) 入学許可候補者の予定人員
募集定員の70%程度
- (4) 検査の内容
 - ・第1日の学力検査の内容
国語・数学・英語
 - ・第2日の検査の内容
面接

Ⅶ 後期選抜

- (1) 実施する学校・学科
全日制の課程及び定時制の課程のすべての学校・学科で実施
- (2) 募集人員
 - ・全日制の課程
募集定員から上記Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ及びⅥにより入学許可候補者に内定した者の数を減じた人数
 - ・定時制の課程（三部制の定時制課程を除く）
募集定員から上記Ⅰ，Ⅲ，Ⅳ及びⅤにより入学許可候補者に内定した者の数を減じた人数
 - ・三部制の定時制課程
午前部，午後部及び夜間部のそれぞれについて，各部の募集定員から転入学等の予定人員及び「Ⅸ 秋季入学者選抜」の募集定員並びに上記Ⅰ，Ⅳ及びⅤにより入学許可候補者に内定した者の数を減じた人数
- (3) 検査の内容
学力検査（国語・数学・英語・理科・社会）及び面接等各高等学校が必要に応じて実施する検査

Ⅷ 第2次募集

- (1) 実施する学校・学科
入学許可候補者が募集定員（三部制の定時制の課程においては，募集定員から転入学等の予定人員及び「Ⅸ 秋季入学者選抜」の募集人員を減じた人数）に満たない全日制の課程及び定時制の課程のすべての学科で実施。当該教育委員会に最新情報を要確認。
- (2) 募集人員
 - ・全日制の課程及び定時制の課程（三部制の定時制課程を除く）
募集定員から入学許可候補者の数を減じた人数を募集人員とする。
 - ・三部制の定時制の課程
募集定員から転入学等の予定人員及び「Ⅸ 秋季入学者選抜」の募集人員並びに入学許可候補者の数を減じた人数
- (3) 検査の内容
 - ・すべての高等学校で面接を実施。
 - ・各高等学校は、次のア～キのうちから、いずれか一つの検査を実施。
ア 集団討論 イ 自己表現 ウ 作文 エ 小論文 オ 適性検査
カ 学校独自問題による検査 キ その他の検査

Ⅸ 秋季入学者選抜

- 期待する生徒像は各高等学校が別に定める。県教育委員会に最新情報を要確認。
- (1) 実施する学校・学科（平成23年度の実施予定）
千葉県立生浜高等学校三部制（午前部、午後部、夜間部）の定時制の課程普通科
千葉県立松戸南高等学校三部制（午前部、午後部、夜間部）の定時制の課程普通科
 - (2) 募集人員
午前部、午後部、夜間部のそれぞれについて，別に定めて告示する各部の募集定員から転入学等の予定人員を減じた人数の一部とし，その範囲は秋季入学者選抜枠のとおりとする。秋季入学者選抜枠は，各高等学校の特色及び地域の実態に応じて，5%以上20%以内の範囲から，別に定める。
 - (3) 検査の内容
各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施する。

X 通信制の課程の入学選抜

一期から五期まであり、応募資格に要注意。県教育委員会に最新情報を要確認。

- (1) 実施する学校・学科（平成23年度実施予定）
千葉県立千葉大宮高等学校通信制の課程普通科
- (2) 入学許可候補者の予定人員
 - ・一期入学選抜（前期選抜と同じ日程で実施）
別に定めて告示する募集定員から、「X 通信制の課程の入学選抜」の「五期（秋季入学）入学選抜」の募集人員を減じた人数の50%程度。
 - ・二期入学選抜（後期選抜と同じ日程で実施）
募集定員から、「X 通信制の課程の入学選抜」の「五期（秋季入学）入学選抜」の募集人員及び「一期入学選抜」により入学許可候補者に内定した者の数を減じた人数の50%程度。
 - ・三期入学選抜（第2次募集と同じ日程で実施）
募集定員から、「X 通信制の課程の入学選抜」の「五期（秋季入学）入学選抜」の募集人員並びに「一期入学選抜」及び「二期入学選抜」の入学許可候補者の数を減じた人数の50%程度。
 - ・四期入学選抜（4月に実施）
募集定員から、「X 通信制の課程の入学選抜」の「五期（秋季入学）入学選抜」の募集人員並びに「一期入学選抜」、「二期入学選抜」及び「三期入学選抜」の入学許可候補者の数を減じた人数。
 - ・五期（秋季入学）入学選抜
募集定員の10%程度。
- (3) 検査の内容
面接及び作文

○転・編入による入学について

転・編入試験については、県教育委員会、当該市教育委員会又は当該市立高等学校に問い合わせること。

- 1 転入学と編入学
転入学は、原則として保護者の転勤又は転居した場合等により、在籍校に通学できなくなる生徒が対象。
編入学は、海外帰国生徒及び通信制の課程希望者等が対象。
- 2 転入学試験を実施する高等学校
(平成22年度の実施状況)
全日制の課程124校、定時制の課程17校、通信制の課程1校
※千葉県教育委員会ホームページ参照
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku-bunka/kyouiku/gakkou/nyuushi/index.html>
- 3 編入学試験を実施する高等学校
(平成22年度の実施状況)
全日制の課程86校、定時制の課程4校、通信制の課程1校
※千葉県教育委員会ホームページ参照
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku-bunka/kyouiku/gakkou/nyuushi/index.html>
- 4 試験の内容
各高等学校で定める。(多くの高等学校で国語・数学・英語の3教科の試験と面接を実施。)
なお、受験の際に必要な提出書類等、詳細については、各高等学校に問い合わせること。

※市立高等学校に関しては、当該市教育委員会又は当該市立高等学校に問い合わせること。

参 考 情 報

健康診断や家庭訪問等の通知

千葉県国際交流センター(ポルトガル語, スペイン語, 英語, 中国語, 韓国・朝鮮語, タイ語)

<http://www.mcic.or.jp/otayori/index.htm>

船橋市教育委員会(英語, スペイン語, ポルトガル語, 中国語, 韓国語, タイ語)

<http://www.funabashi.ed.jp/data/kokusai/index.html>

浜松市教育委員会(ポルトガル語, スペイン語, 英語)

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/shikyoi/foreign/data-foreign.htm>

大阪府教育委員会(中国語, 韓国・朝鮮語, 英語, ベトナム語, ポルトガル語, スペイン語, フィリピン語)

<http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/index.html>

兵庫県教育委員会(英語, 中国語, 韓国・朝鮮語, フィリピン語, スペイン語, ベトナム語,
ポルトガル語, インドネシア語)

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/ukeire/ukeire.html>

豊橋市教育委員会(ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語)

<http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/>

日本語学習教材リスト

かながわ国際交流財団

http://www.k-i-a.or.jp/plaza/forum/learn_jp/

兵庫県教育委員会子ども多文化共生センター

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/document/indexH22.html>

凡人社

<http://www.bonjinsha.com/>

そうがく社

<http://www.sogakusha.co.jp/infomation/forchildren.htm>

教材

国立国語研究所

<http://www.kokken.go.jp>

国際交流基金日本語国際センター

<http://www.jpf.go.jp/j/urawa/>

国際日本語普及協会

<http://www.ajalt.org/>

東京外国語大学(在日ブラジル人・フィリピン人児童のための教材)

<http://www.tufs.ac.jp/common/mlmc/kyouzai/brazil/>

川崎市総合教育センター(算数関係書類・ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語・タガログ語・韓国朝鮮語)

<http://www.keins.city.kawasaki.jp/syuppan/taiyaku/taiyaku.htm>

その他

文部科学省(海外子女教育、帰国・外国人児童生徒教育等(CLARINET))

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/main7_a2.htm

外務省(諸外国の学校情報, キッズ外務省, 開発教育・国際理解教育)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/index.html

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/index.html>

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/edu/kyouzai.html>

東京学芸大学国際教育センター(JSLカリキュラムの活用支援サイト)

<http://crie.u-gakugei.ac.jp/jsl/>

NPO 多文化子ども支援ネット(外国人児童生徒のための受け入れガイダンス)

http://homepage3.nifty.com/tabunka_kodomo_shien/guidence-digest.html

